交通事故が起こらないまちを目指して 国見町・桑折町交通安全町民大会

毎年、桑折町と国見町が合同で実施している国見町・桑折町交通安全町民大会が11月28日、観月台文化センター（国見）で開かれました。当日は、交通安全功労者などの表彰や警察による交通安全に関する講演が行われ、交通事故防止への取り組みを再確認しました。

【受賞者（桑折町のみ）】

▼大会長・福島北警察署長連名表彰

〈交通安全功労者〉
蓬田元衛　佐藤英義

〈交通安全優良団体・事業所〉
桑折運送有限会社

▶交通安全功労者として表彰状を受け取る佐藤英義さん

▼福島北署長・桑折地区安全運転管理者協会長連名表彰

〈交通事故防止コンクール〉
曙ブレーキ福島製造株式会社
渋谷建設株式会社
県北清掃環境サービス協業組合
根本建設株式会社
株式会社近藤組
丸美青果有限会社
ふくしま未来農業協同組合桑折支店
社会福祉法人コクーン
桑折ガス株式会社
マエサン東北農材株式会社
有限会社三協ハイヤー
有限会社鈴木運送
桑折運送有限会社
（敬称略・順不同）

地域一丸で守るくらしの安全 年末年始事件事故防止活動出動式

町の防犯や交通安全関係団体による年末年始事件事故防止活動出動式が12月11日、イコーゼで行われました。式では、警察署をはじめ、桑折地区防犯協会、防犯指導隊、桑折地区交通安全協会などの団体が出席。福島北警察署長や桑折地区防犯協会連合会長の髙橋町長らがあいさつし、防犯指導隊による安全宣言が確認された後、各団体が会場を出発。白バイやパトカーによる町内警らやブイチェーン桑折店で啓発活動を行いました。

▶町内警らに向かう白バイやパトカー

空き家にしないための第一歩 住まいのエンディングノート

桑折まちづくりネット主催（町共催）のセミナー「住まいのエンディングノートを書いてみよう&空家相談会」が12月6日、役場で行われました。住まいのエンディングノートは、相続の制度や手続きなどを確認することができ、住まいの情報や今後どうしてほしいかを書いて残しておけるノート。参加者は、司法書士の説明のもと、実際にノートに書きこみながら、住まいの将来について具体的にイメージしていきました。

▶家の将来のことを整理できたなどの声が寄せられました

豊かな森林を守り引き継ぐために 半田財産区が町に要望書を提出

半田財産区管理会は11月7日、「半田財産区の財産移管についての要望書」を町長に手交しました。

設置から70周年を迎えた当財産区は、半田地区の山林の一部を、半田地区住民の共有財産として管理しながら、薪やキノコなどの林産物を生活資源として活用してきました。しかし、ライフスタイルの変化や木材市況の低迷、原発事故災害の発生などにより、財産活用による運営が見通せない状況が続いており、昨年3月から、管理会委員が「管理運営に関する今後のあり方」について検討を重ねてきました。説明会の開催や「半田財産区だより」を発行し、住民の理解を得ながら移管に関する基本方針をまとめ、要望書の手交に至りました。

神田隆雄管理会委員長は「区有林が、引き続き豊かな森林として適切に守り育てられ活用されるよう移管を要望します」と話し、髙橋町長は「半田地区の歴史を踏まえ、半田山全体の活性化のために有効活用を図るとともに、将来にわたり公益的機能が維持されるよう次世代にしっかりと引き継いでいく」と述べました。

▲髙橋町長に要望書を手渡す神田委員長（右）

音楽の力と認知症 絵本「おもいでメガネ」の世界から

認知症のおばあちゃんと孫とのふれあいを描いた絵本「おもいでメガネ」の作者、ないとうともあきさんによる講演会が12月6日、イコーゼで行われ、120人が参加しました。絵本のムービー上映や加藤エレナさんによるピアノ演奏を通して、クスッと笑ってしまう認知症のエピソードや音楽が認知症に与える力などを分かりやすくお話しいただきました。参加者は、心地よいピアノの音色に包まれながら、認知症への理解を深めました。

▶楽しく心温まるエピソードを話すないとうさん

音楽を楽しもう オレンジカフェもんも

認知症について理解を深める「オレンジカフェもんも」が12月10日、睦合小学校で行われ、19人が参加しました。当日は、音楽療法士の紺野涼子さんを講師に迎え、認知症や音楽療法について講話いただきました。クリスマスが近いこともあり、参加者全員でハンドベルの演奏にもチャレンジ。その他、童謡を歌ったり、楽器を演奏したりと、童心に返りながら楽しむみなさん。音楽の力を肌で感じながら、認知症について理解を深めました。

▶紺野さんの話を真剣に聞き入る参加者のみなさん